

Q 「事業承継」という言葉を最近ニュースでよく耳にします。「事業承継」とは、どのようなものなのでしょうか？

A 「事業承継」とは、親対策や、「株価対策、株式集から子に、最近では従業員へ、中化」などの法務面での対策または外部(売却)へ、事業会社を引き継ぐことを指します。ただ、この言葉にはさまざまな捉え方があるようです。

例えば、「事業承継時の贈与や相続」などの税金面での



事業の承継で大切なこと

法論であつて本質ではありません。

事業承継において一番大切なことは、「事業の継続」です。その前提があつてこそ、税金や株式、資産の承継対策の意義があります。「事業の継続」のために、事業の源泉

である「目に見えない資産」(技術・ノウハウ、顧客基盤等の「儲けの仕組み」と、それをつくりてきた「社長の想い、理念」をいかに引き継ぐか)といふことが事業承継の本質なのです。

「目に見えない資産」は、等も含めると更に年月が必要で、その先を見据え、目に見えない資産と「物的資産」をいつ引き継ぐかを記し、(中小企業診断士 大竹寛) 事業の継続のため、時代の変化を捉えた未来志向で磨き上げていく必要があります。情報通信技術の進展で、世の中の仕組み・ビジネスが大きく変わりつつある今、過去の技術や商売の形をそのまま

「目に見えない資産」は、等も含めると更に年月が必要で、その先を見据え、目に見えない資産と「物的資産」をいつ引き継ぐかを記し、(中小企業診断士 大竹寛) 事業の継続のため、時代の変化を捉えた未来志向で磨き上げていく必要があります。情報通信技術の進展で、世の中の仕組み・ビジネスが大きく変わりつつある今、過去の技術や商売の形をそのまま

地域に少しでも多くの「事業」を残す支援をしたい。「事業承継」に関する相談は、

「目に見えない資産」は、等も含めると更に年月が必要で、その先を見据え、目に見えない資産と「物的資産」をいつ引き継ぐかを記し、(中小企業診断士 大竹寛) 事業の継続のため、時代の変化を捉えた未来志向で磨き上げていく必要があります。情報通信技術の進展で、世の中の仕組み・ビジネスが大きく変わりつつある今、過去の技術や商売の形をそのまま